

ご挨拶



当協会は、全国の地下鉄事業者と地下鉄に相互乗り入れをしている鉄道事業者、さらに地下鉄に関係するメーカー等を会員とし、地下鉄に関する技術や情報を会員間で共有するとともに、地下鉄が公共交通機関として都市における交通機能の充実に貢献すべく活動を行っております。

日本の地下鉄は、1927年（昭和2年）12月に東京で開業以来、97年間にわたって都市の発展を支えるとともに、新線の開業や既設線の延伸を重ね、今や、北海道から九州まで、全国12都市48路線、総延長851.5km、利用者は1日当たり1,590万人に達しております。

地下鉄は、地下走行による高速性と定時運行により、都市の道路交通渋滞の緩和に寄与しているほか、高度な運行システムにより、高い安全性と安定性を確保しております。

さらに、他の交通機関に比べ、二酸化炭素排出量が少なく環境に優しい公共交通機関であり、また、高齢者や外国人など誰にでも利用しやすいユニバーサルデザインにも配慮しております。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大により、大幅に落ち込んだ地下鉄輸送人員は徐々に回復してきておりますが、施設の老朽化や地震、激甚化する自然災害等への対応や高齢化社会の進展等に対応する更なるバリアフリー化の推進など、課題は山積しております。

当協会では、引き続きハード・ソフト両面での安全対策、浸水対策、バリアフリー等の取組、そして、脱炭素社会の推進、進化する先進的な鉄道技術の導入、リニアメトロに係る課題の把握とその改善に向けた方策の検討等についても、国へ要望するとともに、会員と協力して進めてまいります。

また、二次元コード、クレジットカードによるタッチ決済をはじめとするデジタル化（DX）等新たなサービス向上の取組が始まっておりますので、当協会としてもこれらの適切な情報提供に努めてまいります。

今後とも、地下鉄の魅力を発信しつつ、地下鉄を安全・安心、快適・便利にご利用いただけるよう、協会一丸となって取り組んで参りますので、皆様のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年1月

一般社団法人 日本地下鉄協会

会長 高島 宗一郎

（福岡市長）